

地域における腎疾患予防への取り組み



厚生労働省主催・CKDシンポジウム
～あなたの腎臓だいじょうぶ？～

聖隷浜松病院腎臓内科・腎センター 磯崎泰介、鈴木由美子、小野雅史

2009.3.13@ゲートシティホール大崎

慢性腎臓病
(CKD)
の特徴は？

- ① 症状に乏しく放置すると静かに進行。
- ② 治療が長期にわたる
- ③ 薬だけでは不十分

CKD
治療の
三本柱



CKD
治療の
「三つの力」

- ① 知るは力なり→正しいCKDの知識を得る。
- ② 継続は力なり→治療を続けることが大切。
- ③ 仲間力は力なり→家族・友人・医療者に支援を。

CKD治療は自分で参加できる余地が大きい！

【背景】CKD診療上の問題点

- 1 膨大なCKD人口に対し極少数の腎専門医
(例: 当科3名で母集団約30万人のCKDに対応)
- 2 患者・かかりつけ医(GP)・コメディカル
のCKD知識不足
- 3 不十分なCKD治療(too little)・
腎専門医(NP)への遅すぎる紹介(too late)

【目的】

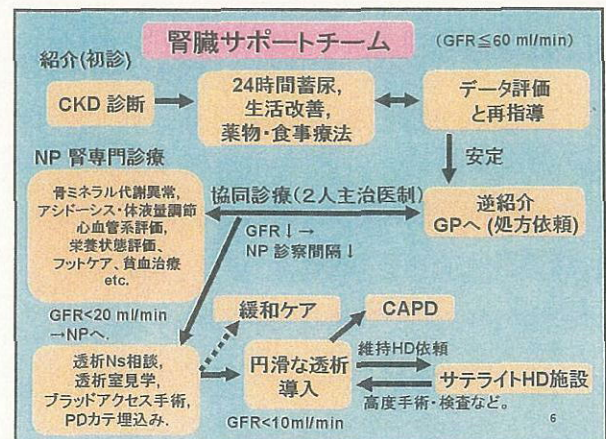
浜松地区における有効なCKD診療システム構築

- 1 患者・家族、GP・コメディカル 教育
- 2 GP と NP の双方向的な病診連携
- 3 多職種医療職によるチーム医療

方法 1 : 腎臓サポートチーム (KST : Kidney Support Team)

1999年～

- ・地域医師会に対するCKD啓蒙巡回講演(毎年実施)。
- ・CKD患者・家族対象「腎臓いきいき教室」(集団指導)。
- ・「ワンストップ」CKD外来(NP、管理栄養士、
透析専門看護師による)。
- ・双方向的CKD病診連携(GP・NP2人主治医制)。
- ・ブラッドアクセス作成 / 腹膜透析カテーテル埋込み
事前手術(GFR15ml/min以下)



腎臓いきいき教室 (CKD患者・家族向け)

腎専門医の講演・Q&A 薬剤師の解説・Q&A 教室運営スタッフ

管理栄養士による腎臓病食試食とメニュー紹介 100回記念イベント！腎臓クイズ優勝者と 100回記念全員集合！参加者と運営スタッフ

教育・継続・仲間は力なり！

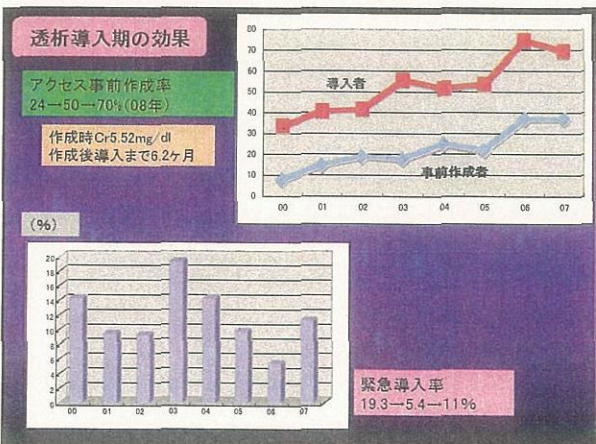
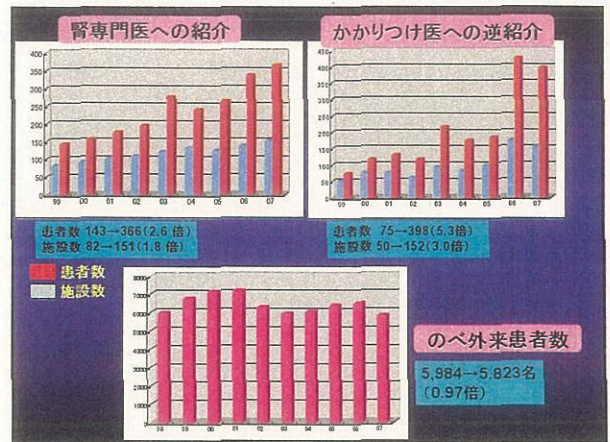
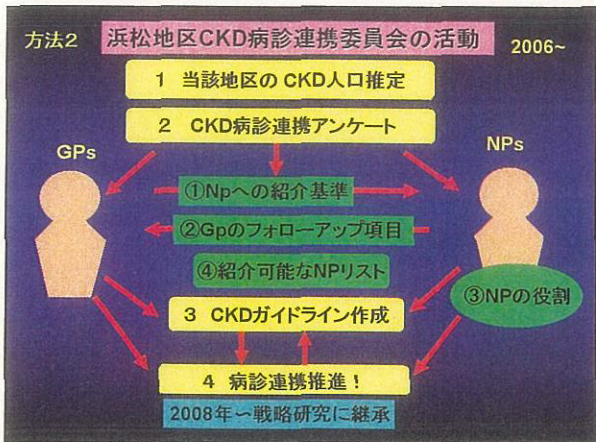
"ワンストップ" CKD外来

腎専門医 透析看護師 管理栄養士

中待ち合い廊下

腎臓いきいき手帳

教育・継続・仲間は力なり！



まとめ

- CKD治療の3本柱は生活改善・薬物療法・食事療法。
- 有効なCKD治療には、患者さん・ご家族、コメディカル、かかりつけ医、腎専門医がそれぞれ風通し良く、チームで取り組むことが大切。
- CKD治療の3つの力: 知るは力なり、継続は力なり、仲間は力なり！

希望を持ってご自分の地域でCKD治療に取り組んで下さい。ご清聴ありがとうございました！